

令和2年度

決算報告書

(第2期事業年度)



自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公立大学法人公立千歳科学技術大学

令和2年度 決算報告書

公立大学法人公立千歳科学技術大学

(単位：千円)

区分	予算	決算	差	備考
収入				
運営費交付金	764,476	764,476	0	
施設整備補助金	409,604	400,455	△ 9,149	(注1)
補助金収入	64,108	64,228	120	(注2)
自己収入	679,295	726,107	46,812	
授業料等及び入学検定料収入	632,622	649,904	17,282	(注3)
雑収入	46,673	76,203	29,530	(注4)
受託研究等収入	29,464	74,947	45,483	(注5)
寄附金収入	16,687	59,028	42,341	(注6)
計	1,963,634	2,089,241	125,607	
支出				
業務費	1,517,566	1,523,479	5,913	
教育研究経費	435,063	491,760	56,697	(注7)
人件費	884,324	850,442	△ 33,882	(注8)
一般管理費	198,179	181,276	△ 16,903	(注9)
受託研究等	36,464	65,234	28,770	(注10)
施設設備整備事業費	409,604	386,452	△ 23,152	(注11)
計	1,963,634	1,975,165	11,531	
収入－支出	0	114,076	114,076	

(注1) 対象事業費が減額となったため、補助金額も減額となりました。(注11参照)

(注2) 差額は少額ですが、以下の増額、減額が生じました。

① 国の高等教育修学支援新制度による授業料減免に対し、千歳市から交付される「修学支援に関する減免費用」が予算よりも17,431千円減額となり、46,677千円となりました。(減免対象者確定に基づく)

② 主に次の補助金が新規に交付されたため、17,550千円増額となりました。

- ・経済産業省「中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)」3件、13,280千円
- ・文部科学省「大学改革推進等補助金(新型コロナウイルス対応・授業料減免)」1,056千円
- ・文部科学省「教員講習開設事業費等補助金」2,000千円 など

(注3) 入学者数及び在籍学生数が増加したため、増額となりました。

(注4) 教員免許状更新講習料収入が受講者数の増加等のため、増額となりました。

(注5) 新規の受託研究(文部科学省・マテリアル先端リサーチインフラ事業)の受け入れにより増額となりました。

(注6) 新型コロナウイルスの影響に対応するため、学生に給付した「緊急生活支援金」及び大学院生家計急変者に対し授業料減免を行うにあたり、財源について学校法人千歳科学技術大学から承継した現預金を充当したため、増額となりました。

(注7) 新型コロナウイルスの影響に対応するため、学生に「緊急生活支援金」を給付したこと、大学院生家計急変者に対し授業料減免を行ったこと及び新規に交付された補助金に対する事業を実施したことなどにより、増額となりました。

(注8) 新規採用教職員の給料確定、途中退職者の発生、新型コロナウイルスの影響により授業、行事が中止となったことに伴う学生アルバイトの減少等により、減額となりました。

(注9) 総務、財務事務経費が減額となりました。

(注10) 新規の受託研究(文部科学省・マテリアル先端リサーチインフラ事業)の受け入れにより増額となりました。また、予算には奨学寄附金による研究経費を計上していましたが、決算では教育研究経費に計上しました。

(注11) 競争入札の実施により減額となりました。また、資産に計上しない消耗品費、修繕費は教育研究経費または一般管理費に計上しました。